

2010 年 2 月 20 日

骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会 資料

骨髄液輸注前のクロスマッチ検査の推奨における補足説明について

2009/7/15 日付けで通知いたしました「骨髄液輸注前のクロスマッチ検査の推奨」につきまして、移植施設の先生方よりご質問いただきましたので、補足いたします。

2009 年 7 月 15 日付け通知文内容

（認定施設への）アンケートの結果、67.9%の移植施設が輸注前にクロスマッチ検査を実施しないとの回答でした。しかし、異型輸血や検体取り違いを防ぐ手段のひとつとして、クロスマッチ検査を推奨します。

【補足】

骨髄液輸注前のクロスマッチ検査の推奨は、異型輸血事例を踏まえ、その予防措置のひとつとして紹介いたしました。これ以外で異型輸血の確認ができている場合は必要ないので、本検査は義務とせず推奨とさせていただきました。

検体確認の方法は、クロスマッチに限らず、それぞれの施設で工夫していただいて結構です。

血液型や抗体スクリーニングを実施している場合は、医学的にはクロスマッチは不要です。

以上